

1. 新潟市の地域経済の振興について

(1) 地域経済の振興のために新潟市の地域性や文化性を生かした形での、食・住・環境・福祉等の領域での「地産地消」をおこない、地域循環型経済振興の取り組みをすすめることが必要と考えるがどうか。

(2) 各区で地域の農業特産物を生かすための努力がされているが、こうした取り組みの成果や課題等の交流をはかり、今後の発展のための支援などの系統的な対応が必要と考えるがどうか。

(3) 区で産業政策を推進するための予算枠は、実質上「特色ある区づくり事業」の枠内でしかない。区が産業政策を一定のスパンで取り組めるよう、この予算の配分を抜本的に増やすことが必要と考えるがどうか。

(4) アグリパークに建設される食品加工支援施設の基本方針に、食品加工・製造等の新商品開発や販路開拓、市内生産者に対する食品加工の技術支援、コーディネート、コンサルタント業務を行うなどがある。この施設は本市の食産業の将来にかかわるものであること、産業政策を担う職員育成にもつながることから直営にすべきと考えるがどうか。

(5) 健幸すまいリフォーム支援事業及びエコ住宅・エコリフォーム促進事業のそれぞれのこれまでの申請件数、交付決定額と全体工事額及び予算に対する執行見通しを伺う。また、これらの事業が地域経済にどのような影響を及ぼしていると考えるか、その評価を伺う。

(6) これらの事業の今年度の取り組みをふまえ、アンケート等を実施して次年度の取り組みにつなげることが必要と考えるがどうか。

(7) 地域循環型経済振興をはかることを基本にして、中小企業振興基本条例の制定にむけた協議・検討を関係団体によびかけてすすめるべきと考えるがどうか。

(8) 消費税率引き上げに対して、「税負担の上昇」等で企業の67.1%が業績に悪影響を懸念し、国内消費は8割を超える企業が「縮小する」としている(帝国データバンク景気動向調査)。地域経済と雇用を守る立場からも消費税率引き上げ中止の立場を明確にして国に意見をあげるべきと考えるが市長の見解を伺う。

2. 鳥屋野潟総合整備計画について

(1) 鳥屋野潟は、治水と利水の役割に加え、開発がすすむ都市部に近接しているが、多種多様な魚類、昆虫、植物、鳥類などが生息する貴重な自然環境であるとともに、その水辺も含めて、緑の少ない都市部に近接したやすらぎの場と

して市民に親しまれていると考えるが、このことにたいする認識を伺う。

(2)新潟市レッドデータブックには、希少植物・動物が掲載されている。鳥屋野潟周辺には絶滅危惧1類、絶滅危惧2類、準絶滅危惧の植物はそれぞれどれくらいか伺う。また、1985年の第1回調査以降どれくらいの希少植物が確認されなくなったのか伺う。

(3)県による鳥屋野潟築堤計画は、120億円という多額の事業費を見込みながら、治水の必要性・効果が疑問視されるものである。築堤を必要とする根拠についての市長の見解を伺う。

(4)この築堤計画に対する治水上の根拠が市民理解を得られなければ、この計画の見直しを求めることは当然と考えるがどうか。

(5)2007年に改定された「新潟市環境基本計画」で目標とされた「自然と人間が共生する田園ふれあい都市」の立場や市民の願いから、鳥屋野潟の自然と環境を守ることを最優先に、市民・関係団体・専門家等の検討委員会で潟と周辺の将来ビジョンをつくり、市民合意を得ながら遊歩道建設や公園の拡充などの周辺整備をはかることが必要と考えるがどうか。